



## ミュンヘン便り ～中庭～

新緑が目にも潤いを与えてくれる季節ですね。この記事を書いている4月の中旬、花も新緑も一斉にミュンヘンに到来しています。柳の緑が水面に映え、窓を開けるのが気持ちのいい季節です。

私の部屋は、事務所の中でも一番奥にある上に、写真の中庭に面しています。このように通りに面していない部屋は、普通は良い部屋とされます。通りに面している部屋だと、その通りにトラムが走っていたり、交通量が多かったりすると、せっかく窓を開けることが出来る造りであっても、実際に窓を開けて仕事をするのは難しい場合もあります。そこまでひどくなくても、通りには何らかの物音、例えばクラクションとか人々の話し声とかが常に発生しているので、通常は静かな中庭に面している部屋が良いとされるのです。

この中庭、異なる建物によって囲まれています。中庭を挟んで我々の斜め向かい側にある建物、去年の夏から延々と改装工事中なのですが、工事のおじさんが大声でしょっちゅう“*Ich scheisse! Ich scheisse!!!!*”（くそったれ！）と叫んでいるのが丸聞こえです。この表現、ドイツの人たちは老若男女問わずよく使います。なにか気に入らないこと、思うように行かないことなどがあると、すぐこの文章が彼らの口から飛び出します。工事のおじさん達は、普段はBayerisch（バイエリッシュ）と呼ばれるバイエルン地方の方言を使ってしゃべっています。この方言、標準ドイツ語とはほぼ全く別の言語です。ある知人がバリバリのバイエリッシュで別のドイツ人に喋りかけ、そのドイツ人が固まったのを見てす



ぐに標準ドイツ語に切り替えたのを、今でもよく覚えています。それほど違う言語であるものの、この毒づく表現は同じらしく、従って私にも理解でき、それが一日に何度も中庭で連呼されるのを耳にするのであります。この時期は窓を開けているので、大変よく聞き取れます。

この中庭を囲む建物群には、事務所や住居などが入り交じっています。弊所が入っているビルにも住居があります。住居の1つには、クラシック音楽好きの住人が住んでいる

ようです。時々、交響曲やオペラが中庭に大音量で流れます。交響曲ならば比較的仕事への支障が少ないですが、オペラとなるとちょっと違います。特に高らかなソプラノ。中庭を囲む建物の壁に声が反射されてさらに音響効果倍増です。

そうかといえば、ベランダに出て携帯電話片手に大声で電話している人も。みんなに丸聞こえなのを気にしないのが不思議なくらい、朗々かつ延々とベランダで電話おしゃべりを続けています。先日は、中国語で電話している人がいました。おそらくネイティブスピーカーであろうと思われます。話す速度、文の長さ、音量、いつ息を吸っているのかと思うくらいの勢いで、聞いていて圧倒されました。

この中庭を囲む建物の1つであり、弊所と壁を共有して隣接しているのは、劇場です。劇場と言っても様々ですが、我々の隣人は音楽に合わせてオリンピックの体操のようなパフォーマンスを披露する劇場です。隣人のショータイムは夜。通常は夜の8時からで、金曜日と土曜日は夕方5時半から及び夜9時から2回です。隣人が音楽を奏で始めた証拠である低周波音が、特にドラムの低い音が伝わってくると、もう仕事をやめて家に帰るべきということだ、と考えるようにしています。

ところが。毎年のことなのに、春が来る度に忘れていたあることを思い出すのです。それは何かというと、彼らは昼間に練習をするということ。なぜ春がくる度にこれを思い出すかというと、窓を開ける季節だから。音がよく聞こえるのです。しかも、彼らも窓を開けて練習しているに違いない。12時過ぎから、聞こえてくるのです。低周波音だけではなく、高周波音も、歌声も。さらに音楽だけではなく、あたかもそこに観客がいるかのようなノリノリの掛け声も。「さあみんな！乗ってるかい！?!?!」「ワン、トゥー、スリ



ー、イエーイ!!!」などなど。観客がいないのでこれほどハイになれるものだ、さすがプロだ、などと、練習を聞きながら妙な納得をします。

この春、隣人は「ロックスター」という特別なロック音楽によるパフォーマンスの期間を、3月から6月まで設けています(写真)。音楽も、一層ノリノリ。重低音も一段と低く重く、ズシンズシンと響いてきます。いつも練習を聞いているけど、こうなったら一度くらい本番を見に行こう。皆さんも、ミュンヘンにお出でになるときはこの劇場で観劇をいかがですか？詳細は以下のサイトでご参照ください。

<http://www.variete.de/>

## 筆者紹介

稲積 朋子 (いなづみ ともこ)

1994年弁理士試験合格。2012年ヨーロッパ弁理士試験合格。現在、GIP Europe Patentanwaltskanzlei所属。1997年、新樹グローバル・アイビー特許業務法人入所し、主に国内外の出願及び権利化業務を担当。2007年11月より、ミュンヘンの現地提携事務所に駐在。2009年1月、GIP Europe (GIPグループミュンヘンオフィス) 設立。日本企業からのヨーロッパ出願・中間処理・異議申立・侵害品ウォッチングや、ヨーロッパ企業からの日本出願・中間処理業務を行う。趣味は、山登り、ぼーっとすること、寝ること、健康づくりに励むこと。